がんばるひょうごの中小企業を応援する月刊誌

vol.691 | 2019

保証時報

1

2019年 新年のごあいさつ 1

信用保証協会ニュース 2

・「事業承継対策セミナー
～事業承継の第一歩を踏み出そう～」を開催します
・「創業フェア阪神」を開催します
・「保証・経営支援特別推進月間」
～2月28日まで実施しています～
・反社会的勢力の排除に向け、様々な取組を実施しています
・中国・安徽省信用担保集団の視察団が来会されました
・但馬支所 仮事務所への移転のお知らせ
・「2018 ひょうご信用創生アワード」を開催しました

金融機関インタビュー 5

淡陽信用組合　北淡支店

発掘！ ひょうごの魅力再発見!! 6

未来へフォーカス ひょうごのちから 7

ビタクラフトジャパン株式会社

保証状況 9

撮影協力／株式会社笠谷スプリング工場

兵庫県信用保証協会
CREDIT GUARANTEE CORPORATION OF HYOGO-KEN
www.hosyokyokai-hyogo.or.jp

メールマガジンを配信しています!!
配信をご希望される方は、左のQRコードから「メールマガジン申込」ページにアクセスしてください。

信用保証協会は、中小企業のみなさまが事業資金の融資を受けられる時に、公的な立場でバックアップいたします。

HYOGO GUARANTEE
地域とともに　地域のために

二〇一九年 新年のごあいさつ

兵庫県信用保証協会
理事長　杉本 明文

年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様には、輝かしい初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。併せまして、当協会に対しご高配を頂戴しておりますことに、心よりお礼申し上げます。

当協会は、おかげさまで、昨年10月をもって創立70年が経過しました。平成の時代から新しい時代へと引き継がれる年を迎え、私たちも、心を新たにして、新しい時代に求められる保証協会の役割に正面から向き合い、71年目の歩みを続けてまいります。

わが国の経済は、長く好況が持続していますが、中小企業・小規模事業者すべてにその効果が行き届いているとはいえません。少子高齢化・人口減少に伴って、人手不足や事業承継などの課題も大きくなりつつあり、さらに世界経済の先行きにも懸念が生じています。

こうした中、当協会では、創立70周年を期して、昨年末から本年2月末までの間、①保証のご利用を向上させる、②金融機関との連携をより強化する、③返済緩和中の企業を積極的に支援するという三つを目標に、保証・経営支援特別推進月間に取り組んでいます。そして、その成果をバネに、新時代にふさわしい保証協会として期待に応えていきたいと考えています。

地域で生まれ、地域で育まれた協会として「地域とともに 地域のために」を合言葉に、「事業の維持・創造・発展に努力する中小企業の良きパートナーとして信頼される保証協会をめざし、地域経済・社会の発展に貢献する」という基本理念の実現に向け、役職員一同、誠心誠意業務に邁進いたしますので、一層のご利用・ご支援をお願いいたします。

「亥」年には「無病息災」の意味があるとされています。皆様の新年が、健康で明るい一年になりますよう祈念申し上げます。

「事業承継対策セミナー ～事業承継の第一歩を踏み出そう～」を開催します

参加費無料
先着50名様（予約制）

不安を抱えていても先延ばしにしがちな事業承継。問題になる前に、できるだけ早く対策を講じることが重要です。
来る1月25日、実務経験豊富な講師をお招きし、中小企業の事業承継の現状や対策、注意点などについてお教えするセミナーを開催します。事業承継に向けて第一歩を踏み出す機会として、ぜひご活用ください。

日時 2019年1月25日(金) 13:30～17:00
会場 スペースアルファ三宮
（神戸市中央区三宮町1-9-1 三宮センタープラザ東館6階）
対象 中小企業・小規模事業者の経営者、後継者

セミナー講師　宇野 俊英 氏
独立行政法人中小企業基盤整備機構
中小企業事業引継ぎ支援全国本部
事業引継ぎ支援プロジェクトマネージャー

【第1部】（13:30～14:20）
「事業承継の現状と対策の重要性」
マクロの視点から、経験豊富な専門家がお教えします!

【第2部】（14:30～15:50）
「事業承継対策のポイント」
「親族内承継」「従業員承継」「M&A」について、
それぞれ深掘りした説明を行います!

【第3部】（15:50～16:00）
「主催者の事業承継支援メニューのご案内」
事業承継支援にかかる支援体制・制度等をご案内します!

【第4部】（16:00～17:00）
「専門家相談会」
税理士、公認会計士、弁護士、兵庫県事業引継ぎ支援センターによる個別の相談会（各30分）
※ 当日先着順で予約をお受けいたします。

主催：兵庫県信用保証協会、日本政策金融公庫、兵庫県事業引継ぎ支援センター
お問い合わせ先：経営支援室 創業・経営支援課　☎ 078-393-3920

詳細はこちら ⇒

「創業フェア阪神」を開催します

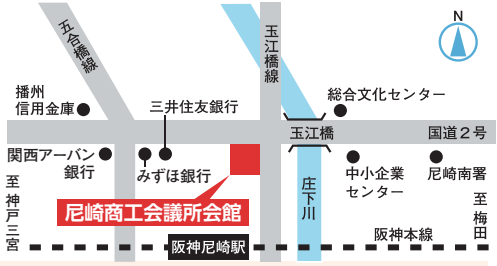
参加費無料
先着50名様（予約制）

金融機関、支援機関及び自治体が一体となって創業者を支援する「創業フェア」。これまでに3回開催し、「創業者の実体験に基づくトークが大変参考になった」「創業を支援する様々な機関を知ることができた」など、ご好評をいただいています。
来る2月21日には尼崎市で開催します。具体的な計画をお持ちでない方も大歓迎です。創業にご興味のある方はお気軽にご参加ください。

日時 2019年2月21日(木) 13:00～17:00
会場 尼崎商工会議所会館7階（尼崎市昭和通3-96）
対象 創業予定者及び創業間もない事業者

中原 美智子 氏

田岡 英之 氏



トークセッション（13:00～14:00）
出演者：中原 美智子 氏（株式会社ふたごじてんしゃ代表取締役）
田岡 英之 氏（株式会社TAOCA COFFEE代表取締役）

ミニセミナー（14:10～15:40）
創業の基本的な知識から販路開拓・資金調達まで
幅広く紹介!
講師：中小企業診断士　志水 功行 氏

創業サロン（14:10～15:40）
金融機関や支援機関から創業支援の情報を幅広く紹介!

専門家相談会（14:00～17:00）
中小企業診断士、税理士による個別の相談会（各30分）
※ 当日先着順で予約をお受けいたします。

交流会（15:50～17:00）
創業者の強い味方、金融機関や支援機関も参加。
創業に向けた仲間作りを応援します!

主催：兵庫県信用保証協会
お問い合わせ先：経営支援室 創業・経営支援課　☎ 078-393-3920

詳細はこちら ⇒

「保証・経営支援特別推進月間」～2月28日まで実施しています～

当協会の創立記念日である10月23日から、保証と経営支援にかかる特別推進月間を実施しています。一部の保証商品について、期間限定の保証料率割引や、適用要件の緩和を行い、中小企業・小規模事業の方々への積極的な金融支援、経営支援に取り組んでいます。

実施期間　平成30年10月23日～平成31年 2月28日

詳細はこちら

反社会的勢力の排除に向け、様々な取組を実施しています

当協会では、反社会的勢力の排除に向け、対応マニュアルの制定、情報収集及び収集情報のデータベース化など、徹底した対応を図っています。

11月7日、当協会の組織的な対応が評価され、「第27回暴力団追放兵庫県民大会」において兵庫県知事から感謝状を頂きました。

また、11月22日には、兵庫県警暴力団対策担当者12名、当協会職員22名の出席による、暴力団等排除対策会議を開催しました。当日は、暴力団等の反社会的勢力の排除に向けた連携強化を図るため、最近の暴力団情勢及び不当要求への対応などについて情報共有・意見交換を行いました。

当協会は、今後も反社会的勢力等には毅然として立ち向かい、一切の排除に努めてまいります。

第27回暴力団追放兵庫県民大会での感謝状贈呈式の様子
（写真右：当協会藤田理事）

暴力団等排除対策会議の様子

中国・安徽省信用担保集団の視察団が来会されました

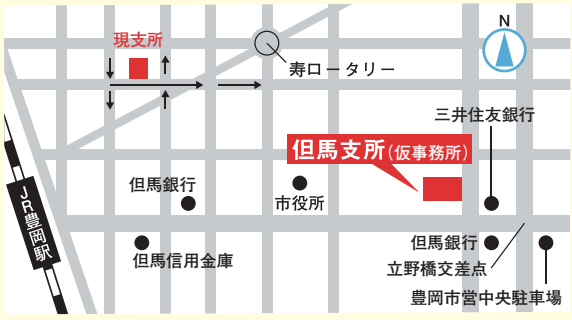
日本の信用保証制度及び日本政府・信用保証協会・金融機関の連携等を学ぶことを目的とした中国・安徽省信用担保集団（安徽省政府100%出資の政策保証会社）の視察団一行が、11月9日に来会されました。

当日は、当協会職員が講義を行い、その後の質疑応答では、信用保証協会の実務や保証商品などについて多くの質問をいただきました。日本と中国の金融システムは異なる点が多く、日本の信用保証制度に対する関心の高さが窺えました。

但馬支所 仮事務所への移転のお知らせ

この度、但馬支所建替えに伴い、下記仮事務所へ移転し業務を行うこととなりました。しばらくの間ご不便をおかけいたしますが、ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

移転時期　平成31年1月21日（予定）
移 転 先　〒668-0026 豊岡市元町1-6 3F
（電話・FAX番号は現在と変わりません）



※ 但馬支所にお越しの際は、豊岡市営中央駐車場をご利用ください。

「2018 ひょうご信用創生アワード」を開催しました

11月19日、ラッセホール（神戸市中央区）において「2018 ひょうご信用創生アワード」を開催し、150名の方にご参加いただきました。

本アワードは兵庫県地域支援金融会議の参加機関等から金融、経営支援を受け、優れた成果を上げた事例を顕彰するもので、昨年に引き続き、2回目の開催となります。

7月から9月まで事例を募ったところ、創業部門15件、成長部門20件、改善部門14件、合計49件の応募をいただきました。去る10月16日には、選考委員会による審査が行われ、各部門3事例、合計9事例が優秀賞に内定。当日は9組のプレゼンテーションが行われ、最終審査を経て、最優秀事例が決定し、贈呈式を実施しました。

当協会では、今後も兵庫県地域支援金融会議やひょうご信用創生アワードなどを通じて、支援機関による中小企業・小規模事業者への金融、経営支援を強化し、地域経済の活性化に取り組んでまいります。

「2018 ひょうご信用創生アワード」選考委員

家森 信善氏（神戸大学経済経営研究所副所長・教授）
竹村 英樹氏（兵庫県産業労働部産業振興局長）
柴谷 真治氏（兵庫県中小企業診断士協会会長）

創業部門

最優秀事例

創業ファンドによる資金支援や外部支援機関活用による創業支援実践
【受賞者】シード株式会社、尼崎信用金庫

優秀事例

働き方改革により新分野進出を実現した卸売業者の第二創業にかかる伴走支援
【受賞者】株式会社足立商事、兵庫県信用組合

『地域クラウド交流会』を活用した創業者の掘り起こしから、創業までの一貫した支援取組
【受賞者】西垣崇史、但馬信用金庫

（左から）尼崎信用金庫、シード株式会社

成長部門

最優秀事例

『おせっかい』で新たなビジネスモデル参入　『おせっかい』な事業性評価による経営支援
【受賞者】株式会社東田ドライ、中兵庫信用金庫

優秀事例

海苔漁師が作った加古川産海苔の認知度向上
【受賞者】有限会社大濵、但陽信用金庫

農業・食を核とした地域資源のブランド化・情報発信による賑わい創出
【受賞者】株式会社グリーンウィンド、但馬銀行

（左から）中兵庫信用金庫、株式会社東田ドライ

改善部門

最優秀事例

強みを活かしたリニューアルと労働生産性向上による老舗旅館の復活
【受賞者】株式会社三木屋、但馬銀行

優秀事例

事業譲受による営業エリア拡大戦略の実施
【受賞者】株式会社福井タイヤ商会、姫路信用金庫

衛生環境整備と生産性の高い生産体制の確立
【受賞者】有限会社弁天堂、淡陽信用組合

（左から）但馬銀行、株式会社三木屋

【講評】神戸大学経済経営研究所 副所長・教授　家森　信善氏

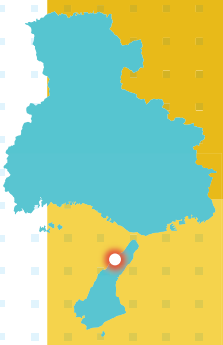
（要旨）中小企業を取り巻く経営環境は厳しい状況ですが、創意と工夫を重ねて事業を成長させている企業は少なくありません。時代の変化が急速な中では、中小企業の柔軟性は大きな武器となります。中小企業経営者の皆様の経営努力がより早く、より確実に、そしてより大きく実るためには、各種支援機関の支援が必要不可欠です。本日プレゼンテーションを行っていただいた事例は、良い取組がたくさん含まれており、甲乙つけがたい内容でした。支援機関の皆さまには、今後も支援事例を磨き上げていただき、ご報告いただけることを楽しみにしています。

金融機関インタビュー

Interview

淡陽信用組合 北淡支店

〒656-1606
淡路市室津2429-7
☎ 0799-84-1313



淡陽信用組合
北淡支店
支店長
秦 充治 様

当支店がある室津は、淡路島北西部に位置しており、山と海に抱かれた自然豊かなエリアです。そのため地場産業として挙げられるのは漁業と関連する水産加工業で、ちりめんや海苔、いかなごを扱う事業者が多く、近年は売り上げも順調に伸びています。さらに農業も盛んで、米、いちじく、びわ、ぶどうなどの生産が盛んです。温暖な気候風土で育ったこれらの作物は、甘みと旨みが強いと定評があります。

Q 貴店のモットーを教えてください。

淡陽信用組合は、経営理念として「人と人とのふれあいを大切にし、愛され親しまれ、地域と共に発展する信用組合を目指す」を掲げています。北淡支店も同じ想いで日々の業務に取り組んでいます。この経営理念を体現するために、職員のマナーや人との出会いを大切にし、お客様に「北淡支店を選んで良かった」と思っていただけるように心がけています。

Q 貴店の強みについて教えてください。

平成28年10月、室津支店と富島支店が合併して北淡支店となりました。北淡支店としての歴史は3年目を迎えたところですが、旧室津支店は平成30年10月で開設60年の長い歴史があります。この北淡地区で60年間、訪問活動に力を入れお客様との揺るぎない信頼関係を築いてきたことが大きな強みとなっています。さらにこの地は、阪神・淡路大震災で甚大な被害を受けた地域でもあります。今でも「震災後、住宅ローンのことなど相談に乗ってもらった」といったお声をいただくことも多く、お客様と共に歩んできた歴史があることも強みと感じています。

Q 保証付融資を推進する際に活用している商品を教えてください。

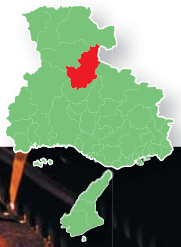
当支店には、短期継続保証「たんけい」を活用して、資金繰りの安定化を図った事業者様が多数いらっしゃいます。今後は、保証料率の割引がある「リピート5」や「リードα」をはじめ、創業支援などを目的とした「地域創生キャンペーン」「チャレンジサポートキャンペーン」なども活用していきたいと考えています。

Q 今後の展開について教えてください。

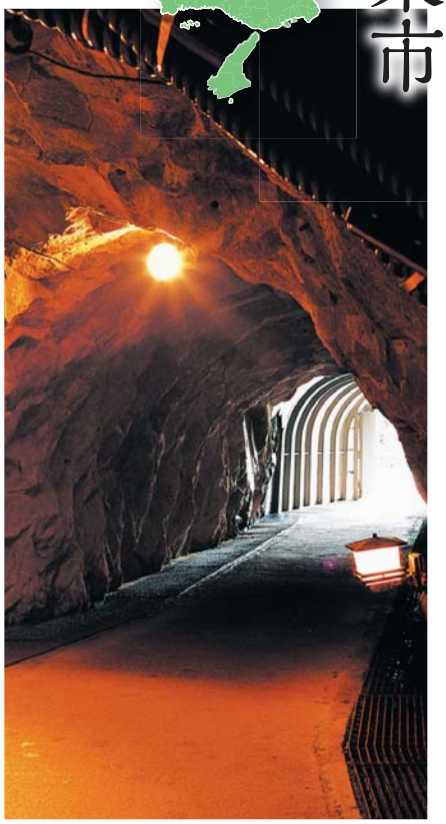
淡路島も他地域と同様で人口減少や資金ニーズの低下など、さまざまな課題を抱えています。このような時だからこそ、事業者の皆様には経営コンサルティングをはじめとした経営改善策をご提案しています。当初は経営改善に消極的であった事業者様も、今では積極的に当組合の提案に耳を傾けてくださるようになるなど、前向きな気運が生まれています。今後も、このような取り組みを強化して、地域の皆様と共に歩む私たちであり続けたいと考えています。

発掘！ひょうごの魅力再発見!!

日本の近代化に貢献。多数の産業遺産が残るまち

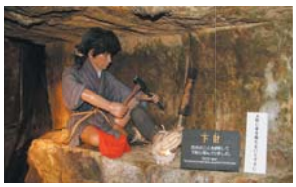


朝来市



史跡生野銀山

生野銀山は807年に銀が出たと伝えられています。織田信長、豊臣秀吉、徳川家康ら時の権力者は、同山を直轄地に定めました。1973年に閉山するまでに掘り進められた坑道の総延長は350km以上、深さは880mにまで達していました。フランス式の石組みで築造された坑口（写真）ができたのは明治の頃のこと。美しい石組みが当時の面影を今に伝えています。



1200年の歴史を巡る坑道内ツアー

江戸時代は、坑夫が手掘りで採掘をしていました。坑道内ツアーは、当時の生々しいノミ跡や坑内の銀鉱脈跡をはじめ、江戸時代から近代の坑夫が採掘をする様子を見ることができます。また、マネキンアイドルの「銀山ボーイズ」が坑道内で皆様をお待ちしております。

鉱石を運ぶ専用電車トロッコ軌道跡

生野鉱山本部から支庫（旧生野駅）間にトロッコ道が整備されたのは1920年のこと。現在は、姫宮神社周辺の市川右岸に残っています。連続するアーチは、土木遺産として注目を集めています。

神子畑（みこばた）選鉱場跡

選鉱とは鉱石を粉砕して有用な金属を選び出す作業のこと。神子畑（みこばた）選鉱場では、銅、亜鉛、錫などを選鉱していました。最盛期には東洋一と呼ばれた建物は2004年に解体され、鉄筋コンクリートの基礎構造物とシックナーの跡が残る。

朝来市の地場産業のひとつ、「**バネ製造**」について私がご紹介します。

但馬支所
植戸 靖晶

朝来市◆の地場産業

バネというとコイル状に巻かれたものだけを想像してしまいますが、板状や細長い棒状になっているものもあり、用途によって形も大きさもさまざまです。そもそもこの地にバネ製造が根付いたのは、太平洋戦争中に株式会社笠谷スプリング工場という、うす板バネの製造専門メーカーが大阪から朝来市に疎開してきたことがきっかけです。同社は新天地で終戦を迎え、事業を再開。鉄道車両、自動車、農業機械、電気機器、産業機械、各種工具などの金属バネ全般を扱うようになり、金属バネ総合メーカーとして全国的に名を馳せるようになりました。それにつれて同分野を手がける事業者も次々と誕生し、この地の地場産業として根付いたとされています。バネは道具や器具など内部に取り付けるため、目にすることはあまりありませんが、実は私たちの生活に陰で支えてくれているのです。

撮影協力／
株式会社笠谷スプリング工場

未来へフォーカス
ひょうごのちから

ビタクラフトジャパン
株式会社

ユニークなアイデアで調理器具が持つ無限の可能性を追求する。

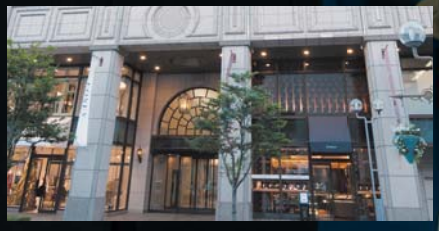
ビタクラフトといえば、独自の全面多重構造で無水調理ができる無水鍋として誰もが知るブランドだ。1939年、アメリカで開発された無水鍋を、日本全国に普及させた人がいる。ビタクラフトジャパン株式会社の代表取締役である井村 守氏がその人だ。井村氏に、これまでの経緯や現状、今後の目標などをうかがった。

ビタクラフトジャパン株式会社

代表取締役　井村 守 氏

〒650-0036 神戸市中央区播磨町49番地
神戸旧居留地平和ビル

☎ 078-332-2791



現在、ビタクラフトジャパンの商品は120種類以上。人気俳優が同社の調理器具を愛用し、テレビで料理を披露する際に使って大ヒットした商品もある。

欧米文学の研究者を志して、東京大学からスタンフォード大学へ。そこで運命の出会いが待っていた。

井村氏が、ビタクラフト社の無水鍋に出会ったのは、スタンフォード大学に留学していた1960年代のことだった。欧米文学を研究するために東京大学に進学し、故郷の兵庫県を後にした井村氏であったが、当時は大学紛争などで勉学や研究に取り組む環境がないことが井村氏をアメリカ留学へと駆り立てたという。留学を果たした井村氏は、夏休みにアルバイトを始めた。それがビタクラフト社の無水鍋の訪問販売だった。販売に際して商品の知識を学んだところ宇宙工学を応用した製品で、仕様は全面多層構造、加熱すると鍋本体とフタの間に水蒸気の膜ができて水分を逃しにくくなり、水を使わずに調理ができる。そのため素材の栄養を逃すことなく調理ができることを知り「日本にはない」と驚いたという。

「各家庭に出向いてキッチンを借り、鍋の使い方を説明して販売をするというアルバイトでした。鍋の機能に驚いた私でしたが、アメリカの家のキッチンにも驚きました。私が知っている“日本の台所”は、家の中でも日の当たらない所にあり、炊事をするだけの場所だったからです。アメリカのキッチンは家の中心にあり、そこに家族も客人も集うのです。日本の台所とアメリカのキッチンの違いに愕然としたことを覚えています」と当時を振り返る。

「当時も今も、特に社交的なタイプではない」と語る井村氏だが、アルバイトの成績は「大学生にしてはよく売った」という。その後、井村氏は、日本の大学で研究職に就いて暮らすつもりで帰国。新しい生活が始まるまでと期限を決めて翻訳の仕事をしていたが、ビタクラフト社から「日本でもビタクラフト社の鍋を広めてほしい」との連絡を受けた。「当時、ビタクラフト社が、なぜ私に依頼してきたのかはわかりませんが、いろいろあってそうしなければならない状況になってしまったことは事実です」と井村氏。かくして、1973年、ビタクラフトジャパンの前身となる井村商事株式会社を創業。井村氏24歳の年だった。

プロの料理人の味は火加減で決まる。家庭でプロの味が再現できる今までにないフライパンを開発。

井村氏が創業を果たした1974年頃のサラリーマンの月給は約5万円、その頃のビタクラフト社の鍋は約5万円だった。無水鍋を使えば素材の栄養を壊すことなく調理ができ、体に良い食事ができることを伝えなければ高価な鍋は売れない。アメリカでの体験を活かして、無水鍋の素晴らしさを対面で伝えながら販売をしようと考えた井村氏は、単身、三越百貨店本店に出向いた。ところが、バイヤーに会ってもらえない日が続いた。諦めかけた頃、奇跡が起き会うことができた。ビタクラフト社の鍋の機能、無水調理の必要性を熱く伝えたことで取り扱いが決定し、自ら店頭で実演販売を行った。「実演販売は今では一般的ですが、日本で初めて行ったのは恐らく私だと思います」と井村氏。

たった一人で始めた実演販売であったが、井村氏の努力でビタクラフト社の無水鍋は人気商品に成長し、取扱店も全国に広がった。同時に、大手飲料メーカーとの協働で料理番組の制作なども行った。番組人気も手伝って、ビタクラフトの名は日本全国にとどろいた。

「2001年、アメリカのビタクラフト社を私個人が買い取ることになったのを機に、社名をビタクラフトジャパンに変更し、移住するつもりで家族をともなってアメリカに行きました。その頃、日本の大手家電メーカーから『IHで自動調理ができる鍋はできないか』といわれ、鍋がIHの温度調節をする機能を持った『RFIQ』という自動調理システムを開発するなど何かと忙しくしていました。また、仕事の都合で2006年に帰国した後も新技術開発に取り組み、新商品を世に送り出してきました。今、力を入れているのは温度表示ができるフライパン『テンプパン』です。弱火、中火、強火といっても感覚は人それぞれですが、この火加減が料理の仕上がりを大きく左右するわけです。フライパン内部の温度が正確にわかれば誰でもプロの味に負けない料理ができると考え、フライパンの取っ手に付けた温度センサーが1℃刻みで温度を表示できるようにしました。例えば美味しい焼き餃子を作る温度は約180℃なのですが、火加減を180℃に保つことができれば家庭でもプロの料理人の味が再現できるのです。このフライパンのお陰で、わが家の餃子、お好み焼きなど温度調節が難しいといわれる料理が驚くほど美味しくなりました」と井村氏。

百貨店での実演販売をたった一人で始めた井村氏であったが、今では社員は200名。商品の取り扱い店舗は全国の有名百貨店220店をはじめ、量販店や専門店などにも広がっている。それでは今後の展開は？

「調理器具に音声認識機能を付けて、例えばフライパンに『チャーハンを作りたい』と話しかけると、フライパンが材料、調理手順を教えてくれて、美味しく仕上がる温度に自動調節するなんて面白いと思いませんか？」

調理器具は井村氏のアイデアでさらに進化する。まるで調理器具の魔術師だ。ビタクラフトジャパンの今後の展開から目が離せない。

コラム

ビタクラフトジャパン株式会社の代表取締役 井村 守様は、平成30年3月、「経営力向上関連保証」を活用されました。

※経営力向上関連保証は、主務大臣から「経営力向上計画」の認定を受け、計画に従って経営力向上にかかる新事業を実施する方を対象とする保証です。

新商品を開発し、世に送り出すには、豊かなアイデアと高い技術、さらに資金が必要です。平成29年、鍋底で温度計測を行い、取っ手に組み込んだモジュールで温度管理ができる「テンプパン」開発に成功しました。同商品を量産するための部材の仕入れ資金等を調達するために「経営力向上関連保証」を活用しました。今後も、金融機関や信用保証協会の力を活用して、今までにない商品を開発していきたいと考えています。

平成30年　11月の保証状況

11月の保証概況

（単位：件、百万円、%）

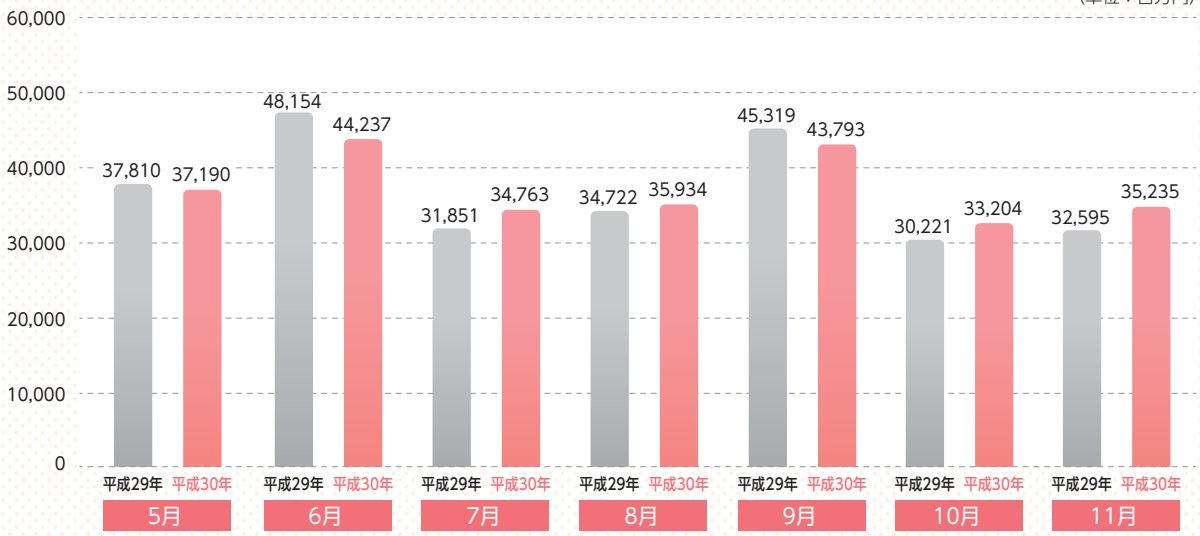
	当月中				当期中			
	件　数	前年比	金　額	前年比	件　数	前年比	金　額	前年比
保証申込	2,163	102.3	35,838	109.1	18,102	98.9	295,775	101.9
保証承諾	2,144	103.3	35,235	108.1	17,870	98.8	291,779	101.6
保証債務残高	—	—	—	—	91,888	99.4	1,098,519	100.4
代位弁済（元利）	159	132.5	2,014	124.8	1,021	100.0	11,189	100.4

❶ 保証承諾

11月の保証承諾は2,144件（前年同月比103.3%）、35,235百万円（同108.1%）となり、前年同月と比べ、件数で68件、金額で2,639百万円上回った。
また、保証申込は2,163件（同102.3%）、35,838百万円（同109.1%）となり、前年同月と比べ、件数、金額ともに上回った。

保証承諾（前年比較）

（単位：百万円）



資金使途別

11月の保証承諾のうち、運転資金は32,509百万円（前年同月比108.7%）、設備資金は1,042百万円（同134.9%）となり、前年同月と比べ、運転資金、設備資金ともに上回った。

業種別

11月の業種別保証承諾の状況は、小売業4,238百万円（前年同月比128.8%）、運送・倉庫業2,008百万円（同125.8%）、サービス業4,572百万円（同122.0%）、不動産業2,176百万円（同109.0%）、製造業5,927百万円（同108.7%）、建設業 8,911百万円（同102.5%）で前年同月を上回り、飲食店1,302百万円（同96.0%）、卸売業5,665百万円（同95.0%）等で前年同月を下回った。

金融機関群別

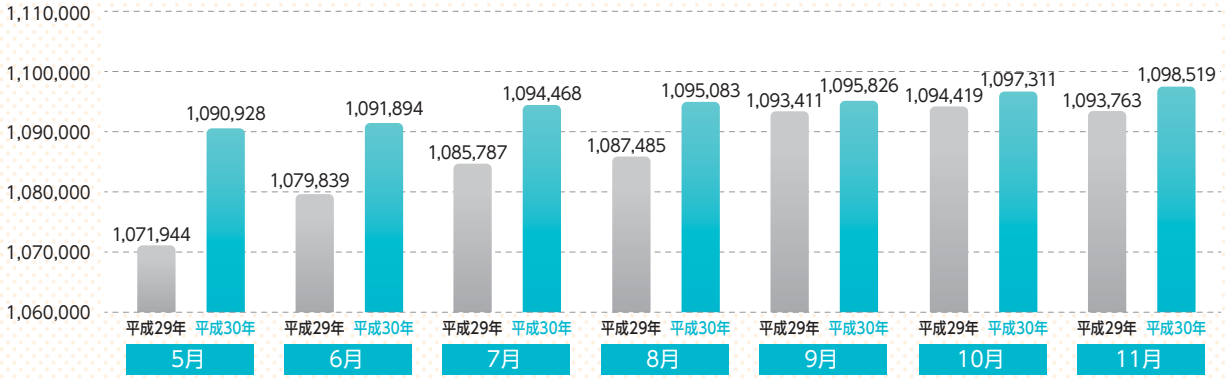
11月の金融機関群別保証承諾の状況は、地方銀行3,721百万円（前年同月比123.7%）、信用組合2,573百万円（同119.5%）、信用金庫22,437百万円（同110.7%）、第二地方銀行 4,758百万円（同101.1%）等で前年同月を上回り、都市銀行1,708百万円（同70.5%）等で前年同月を下回った。

❷ 保証債務残高

11月末の保証債務残高は、91,888件（前年同月比99.4%）、1,098,519百万円（同100.4%）となり、前年同月と比べ、件数は下回り、金額は上回った。

保証債務残高（前年比較）

（単位：百万円）

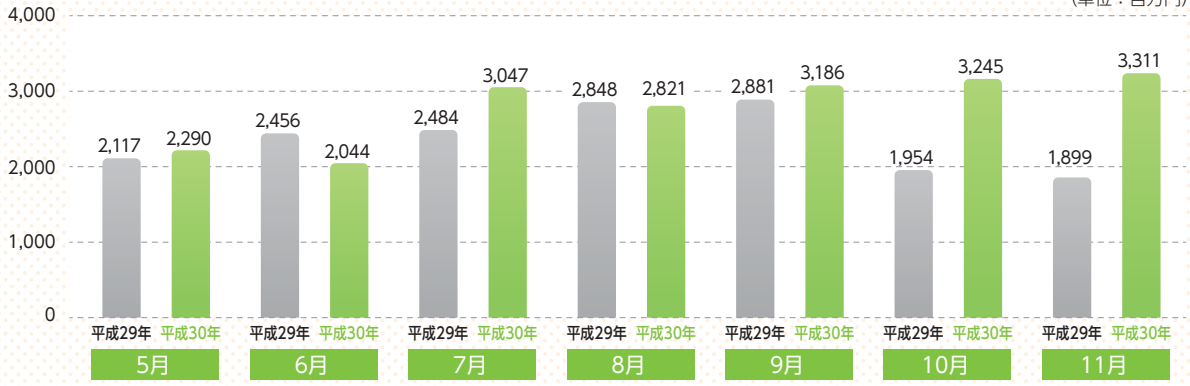


❸ 事故報告

11月の事故報告受付は、257件（前年同月比131.8%）、3,311百万円（同174.4%）となり、前年同月と比べ、件数は62件、金額は1,412百万円の増加となった。
事故報告残高については、11月末で992件（同118.5%）、12,206百万円（同134.6%）となり、前年同月と比べ、件数、金額ともに上回った。

事故報告受付（前年比較）

（単位：百万円）

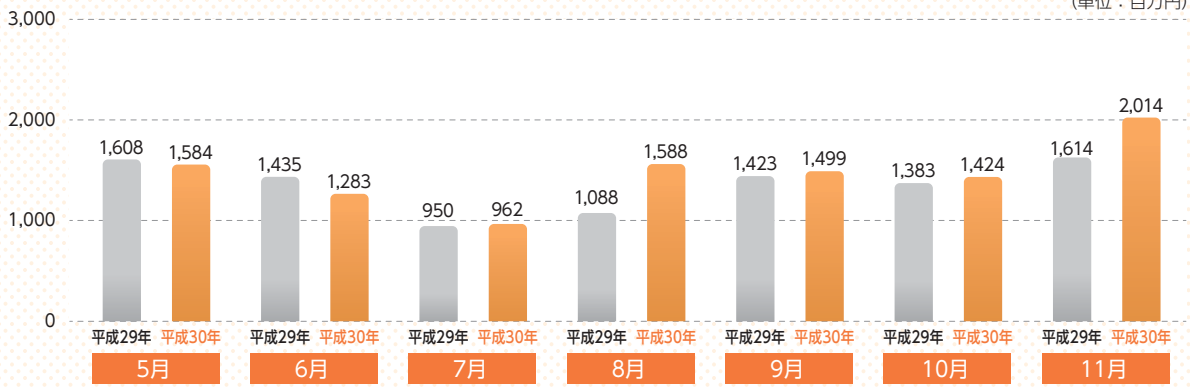


❹ 代位弁済（元利）

11月の代位弁済は、159件（前年同月比132.5%）、2,014百万円（同124.8%）となり、前年同月と比べ、件数は39件、金額は401百万円の増加となった。

代位弁済（前年比較）

（単位：百万円）



信用保証をご利用できる方

以下①～④のいずれにも該当している事業者の方が信用保証をご利用できます。

①資本金または従業員数のいずれかが、右表の企業基準に該当していること。
特定非営利活動法人（NPO法人）の場合は、従業員数（製造業等：300人以下、卸売業・サービス業：100人以下、小売業・飲食業：50人以下）が該当していること。
②個人の場合は、兵庫県内に住居、事務所または営業所を有し、事業を営んでいること。
法人の場合は、兵庫県内に本店または事業所を有し、事業を営んでいること。
③許認可等を必要とする事業の場合は、当該事業に係る許認可等を申込人名義で受けていること。
④事業上必要とする運転資金または設備資金であること。

業種・営業形態などにより、ご利用いただけない場合もございます。
詳しくは、当協会窓口までお問い合わせください。

業　種	資本金	従業員数
製造業等	3億円以下	300人以下
ゴム製品製造業 ※	3億円以下	900人以下
卸売業	1億円以下	100人以下
小売業・飲食業	5,000万円以下	50人以下
サービス業	5,000万円以下	100人以下
ソフトウェア業 情報処理サービス業	3億円以下	300人以下
旅館業	5,000万円以下	200人以下
医療法人等	―――	300人以下

※ 自動車または航空機用タイヤ及びチューブ製造業並びに工業用ベルト製造業を除きます。

国家戦略特区において商工業とともに農業を営む方も信用保証をご利用いただけます。

◎お客様総合相談室（中小企業融資よろず相談窓口）

本　所	小柳室長	TEL 078-393-3905
	堀口次長	

◎本所・事務所・支所のお客様総合相談窓口

本所経営支援室	嶋田副室長	TEL 078-393-3920
神戸事務所	中川副所長（保証相談一課、二課、三課）	TEL 078-393-3909
	垰副所長（調整相談一課、二課）	TEL 078-393-3915
阪神事務所	大禮副所長	TEL 06-6411-4133
姫路事務所	杉之原副所長	TEL 079-289-3611
但馬支所	宮嵜次長	TEL 0796-22-5171
淡路支所	按田次長	TEL 0799-22-4493
西脇支所	藤井次長	TEL 0795-22-6775
加古川支所	藤岡副所長	TEL 079-424-1105

◎代位弁済後のご返済等に関するお客様総合相談窓口

管理部	斎藤副部長 ※本所	TEL 078-393-3914
	宮本副部長（管理相談一課、二課） ※本所	
	岡本課長（管理相談三課） ※姫路事務所駐在	TEL 079-289-3615

（上記担当者が不在の場合は、代理の者が対応させていただきます）

女性企業家のみなさまへ
各事務所、支所に「女性企業家支援チーム」を設置しています。
お気軽にご相談ください。

保証時報の送付について
ご希望の方に保証時報を毎月送付いたします（送料は当協会が負担）。
ご希望の方は総務企画部企画調整課（TEL 078-393-3922）までお申し出ください。

表紙写真
ひょうごの地場産業　　朝来市

バネ製造

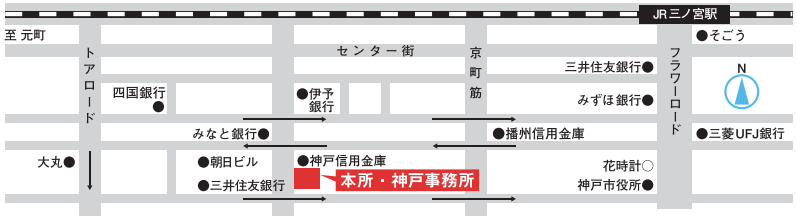
昭和4年、大阪市福島区で、うす板バネ関係専門工場として発足した株式会社笠谷スプリング工場は、戦災で疎開命令を受けて朝来市（当時・養父市）に移転。最新の設備と職人の力を駆使して素材の熱処理、プレスまでも自社で行い信頼の輪を広げています。

撮影協力／株式会社笠谷スプリング工場
〒669-5243 兵庫県朝来市和田山町高田1番地　TEL.079-673-2121

兵庫県信用保証協会のネットワーク

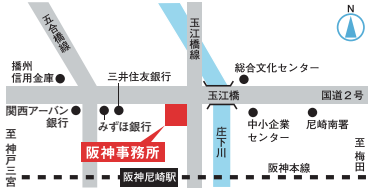
● 本所・神戸事務所

〒651-0195 神戸市中央区浪花町62-1　TEL 078-393-3900（代表）
［担当地域］神戸市、明石市、三木市



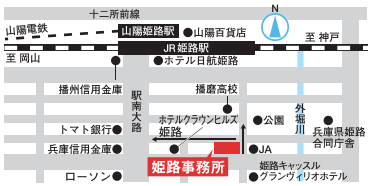
● 阪神事務所

〒660-0881 尼崎市昭和通3-96 尼崎商工会議所会館3F
TEL 06-6411-4133（代表）
［担当地域］尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、川辺郡



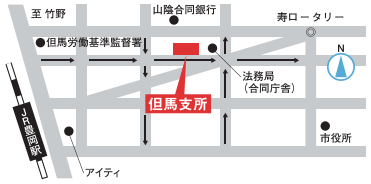
● 姫路事務所

〒670-0965 姫路市東延末3-27-2
TEL 079-289-3611
［担当地域］姫路市、相生市、赤穂市、宍粟市、たつの市、神崎郡、揖保郡、赤穂郡、佐用郡



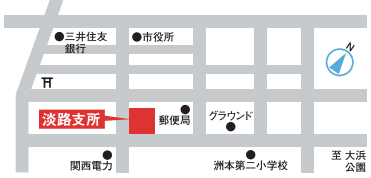
● 但馬支所

〒668-0024 豊岡市寿町8-7
TEL 0796-22-5171
［担当地域］豊岡市、養父市、朝来市、美方郡



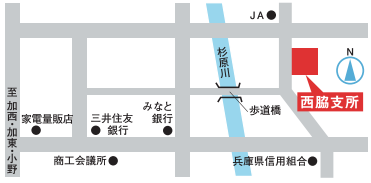
● 淡路支所

〒656-0025 洲本市本町3-1-8
TEL 0799-22-4493
［担当地域］洲本市、南あわじ市、淡路市



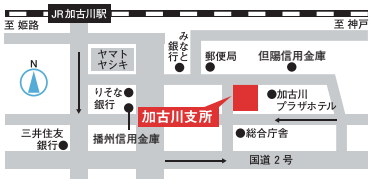
● 西脇支所

〒677-0015 西脇市西脇885-27
TEL 0795-22-6775
［担当地域］西脇市、小野市、加西市、篠山市、丹波市、加東市、多可郡



● 加古川支所

〒675-0064 加古川市加古川町溝之口788
TEL 079-424-1105
［担当地域］加古川市、高砂市、加古郡



■ 暴力団等の反社会的勢力とは取引いたしません。
■ 第三者が介在・介入する申込はお断りします。

古紙パルプ配合率70％再生紙を使用しています